

第17期 第5回常任理事会議事録

日時 昭和47年12月15日（金）14.00～17.00

場所 気象庁観測部会議室

出席者 磯野、小平、中山、河村、神山、二宮、川村、
大井、窪田、伊藤、丸山、各常任理事

列席者 中村庶務委員

議 題

1. 学会の財政問題について
 - (1) 別刷のページ当りの価格の値上げを“天気3円から6円”“集誌4円から7円”にし天気約10万円、集誌約40万円の増収をはかる。
 - (2) Page Charge（気象集誌）の投稿規定の原案を承認の上、増収は、8頁を超えるものについては実費（現在1頁当6千円）の支払いを受けVol. 51, No. 2 から適用し約78万円の増収をはかる。
 - (3) 入会金について総会に提議の上500円とし、約7万円の増収をはかる。
 - (4) 賛助会費の増収につとめ約200万円とし、現在より65万円の増収を得るよう努力する。
 - (5) 気象研究ノートによる増収につとめ約40万円を得るようにつとめる。
2. 構造物の耐風性に関する第3回（昭和48年度）シンポジウムの幹事学会となることについて
幹事間で相談し改めて決める。
3. 秩父宮記念学術賞候補者推薦について
山の気象研究会の業績の概要および推薦理由の説明

があり了承された。

報 告

〔庶務〕

- (1) 12月7日、日本科学技術情報センターから第8回「日本科学技術情報センター丹羽賞」受賞候補者の募集がきた。メ切2月20日。

- (2) 東北大学から交換資料の依頼がきた。（次回に検討する）

〔天気〕

Vol. 20, No. 1 より質疑応答欄をもうけた。

〔講演企画〕

- (1) 関西支部からメソ気象についての講演者派遣依頼があった。

- (2) 仙台における秋季大会についての運営については再度検討する。

〔学会会議〕

4月上旬を目途として“Globalな環境問題について”のシンポジウムを計画中（環境問題特別委員会）

〔ノート〕

- (1) 今後の企画に“富士山の気象”を加える。（その他は第4回議事録と同じ）

- (4) 頒布価格について

定期購読者の割引を考えても良いのではないかと
の意見があった。

承認事項 野田忠彦外12名の入会を承認。

北海道支部研究発表会のお知らせ

北海道支部では、昭和47年度第2回目の研究発表会を
右記により開催します。

日時 昭和48年3月20日（火）13時～17時

会場 北海道大学理学部3号館401号室